

「第8回尿路結石症全国疫学調査：総数調査」

1. 研究の対象

2025年1月～2025年12月に当院で尿路結石症と診断された方

2. 研究目的・方法

日本における尿路結石症の疫学調査は1955年から約10年ごとに過去7回実施されています。2005年の疫学調査までは、尿路結石の発生率は年々増加していましたが、2015年に実施された第7回疫学調査では増加傾向が横ばいとなっていることが報告されています。前回の調査から10年を経過し、2025年に全国で272施設が共同で第8回尿路結石症全国疫学調査を行い、この10年間の尿路結石症の発生率の変化を観察することを目的とします。

研究期間：研究機関の長の許可日 ～ 2027年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年代（10歳区切り）、部位別、結石既往歴（初発/再発）

試料：なし

4. 外部への試料・情報の提供

本研究は多施設共同研究であるため、データセンター（金沢医科大学泌尿器科学医局（日本尿路結石症学会事務局））へのデータの提供は、電子的配信により送付され、研究責任者が保管・管理します。対応表は、当機関研究責任者が保管・管理します
提供を開始する予定日:2025年1月。

5. 研究組織

金沢医科大学 宮澤克人ほか

第8回尿路結石症全国疫学調査参加機関 126機関

第8回尿路結石症全国疫学調査に情報の提供のみを行う施設 146機関

第8回尿路結石症全国疫学調査ホームページ <https://plaza.umin.ac.jp/~jsur/>

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合

でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1

電話 052-851-5511

担当者の所属・氏名

研究責任者：名古屋市立大学大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野

岡田 淳志

研究代表施設：金沢医科大学

研究代表者：金沢医科大学 泌尿器科学 宮澤克人（日本尿路結石症学会 理事）